



公民館 年末大掃除

恒例となっている3区公民館の年末大掃除が12月1日(日)午前9時から、各種団体やサークルなど日頃から公民館を利用する約70人が参加し、屋内と屋外をきれいにしました。

大掃除終了後は、館内からの出火を想定した避難訓練を行ったほか、桐生消防署の協力を得て、消火訓練を行いました。

大掃除や避難訓練などを通して他団体との交流や団体内での絆がより深められました。



隅々までピカピカになりました



火元に向けて噴射するのがコツ

防災 避難訓練とAED講習会

公民館大掃除の際に防災避難訓練を行っています。その中で今年は桐生消防署の協力のもと心肺蘇生とAED講習会を行いました。

人形を使用しての心肺蘇生では、手の甲を重ね肘を伸ばして心臓マッサージを



肘を伸ばして体重をかけます

行いました。30回ずつ終えた頃には疲れ切るほどハードなものでした。

AED講習では機械の電源を入れ音声ガイダンスに従い操作しました。簡単そうに見えますが、実際の緊迫した現場に遭遇したらこの通りに出来るのか不安は残ります。

公民館にもAEDを設置しています。いざという時には、ぜひ活用いただきたいと思います。

散歩道 <あかがね街道と岡上景能> ④ 筆者 國井 洋子

本町宿と笠懸野の開発 (上)

宿場間の道のりは足尾から沢入宿まで約10キロ、沢入宿から花輪宿まで約12キロ、花輪宿から大間々宿(後に桐原宿に変更)まで約14キロでした。ところが、その先の大間々宿から平塚河岸までは22キロもあり、この中間地域には笠懸野と呼ばれる人里のない荒野が広がっていました。

岡上景能は銅山奉行に就任すると、まず、銅輸送の利便性を考え、笠懸野を南北に真っ直ぐに通る新道を整備しました。鹿の川陣屋を設け、この中心の



大原に新しく本町宿(現太田市大原)を作り、ここに銅蔵と銅問屋を設置しました。

銅輸送の仕事を負う役郷と呼ばれる幕府領の村々25か村を本町宿の周辺におき、急増する銅の輸送量に対応できるように整備を行いました。

あかがね街道の沿線に、久々宇村、桃頭村、六千石村、大原本町村、山之神村、大久保村、権右衛門村、溜池村という8つの新村を開発し、このほかに、周辺の既存の村々に対して開発できる土地を与えました。写真は岡上景能像(岩宿博物館北側駐車場)



パリ五輪日本代表永原悠路選手

みど モスストリートパークオープン

1月7日(火)、阿左美旧沼北東に、「ボートレース桐生・みどモスストリートパーク」がオープンし、プロスケートボーダーによるデモンストレーションとプロバスケットボールチームによるエキシビジョンマッチが行われました。

スケートボード場は上・中級エリアと、初心者から楽しめるものです。

オープニングアクトでは2028オリン



公式戦対応のコート

ピック代表候補の猪又湊哉選手、パリオリンピック日本代表の永原悠路

選手やアメリカのX Games Ventura2024で優勝した伊藤美優選手など名だたる選手がダイナミックでトリッキーなスケーティングを披露しました。

また3X3のバスケットコートも併設されていて、群馬県発の3人制プロバスケットボールチームMINAKAMI TOUN.EXEの選手がエキシビジョンマッチを行いました。

パークの開場時間は午前8時30分から午後8時30分までで、ナイター照明が完備されています。休場日はボートレース桐生場外売りの休場日で、年間10日程度が休場となります。使用料は無料、申し込みも不要。

収穫祭 笠懸東小で

笠懸東小学校5年生は総合学習の課題として「米作り」に取り組んでいます。種まきや田植え、稲刈り、脱穀まで一連の水稲栽培に取り組んでいます。

その総まとめとして2月5日(水)の午後に収穫祭が体育館で開催され、米作りでお世話になった地元の農家さんや保護者の方に来ていただき、皆さんの前でその成果の発表がありました。料理班、ポスター班、新聞班、発表班に分かれの発表でした。

また収穫したお米(写真)でみたらし餅やイモおこわを作って試食していただきました。協力農家を代表して武井俊一さんから「とても暑い中の作業でしたがみなさんが頑張って米を収穫することができました。これからも食べ物を大切にしてください。」と挨拶がありました。笠懸東小では地元農家の協力もあって、総合学習の水稲栽培が長く続けられています。



◎行政区より 区長 小林 明

令和6年度は、新型コロナウイルスも5類となりなり、行政区の行事では、納涼祭や敬老行事、荒神山柴刈り、区民ゴルフコンペなどが実施されました。納涼祭では、新たに吹奏楽も催事として加わり、天候にも恵まれ盛大に開催されました。大きな体調不良の方も無く区民の皆様には楽しんでいただけたことと思います、これも各種団体の皆様、区民の皆様のご協力のお陰と感謝いたします。また、福祉部、親老会では、わかばサロン、わかばサロンⅡ、グラウンドゴルフ。育成会では、子どもまつり、研修旅行、子ども八木節、上毛かるた、資源ゴミ回収などが年間の計画のとおり実施されました。

令和7年度は、子ども広場整地、花壇整備などの拡充、健康マージャン愛好会の新設を次期役員に引き継ぎ、活動の充実を進め区民の皆様楽しんでいただきたいと思います。今後も行政区の様々な活動への区民の皆様のご支援ご協力を切にお願いいたします。

◎地区公民館の動き 公民館長 武井 寛

今年度の主な行事として、公民館では納涼祭をはじめとする各種イベントがあり、多くの団体や皆様のご協力をいただき、計画通りに進めることができました。納涼祭では、夏季の暑熱問題などの課題がありましたが、今後の対応について関連団体と協議し、来年度の役員で対応を検討していきます。また、公民館の利用率向上と利用者の年齢層拡大を目指し、区民の皆様の活力の一助となる地区公民館を目指していききたいと思います。今後も公民館の各種活動へのご協力を心よりお願い申し上げます。

反省会 行われる

2月8日(土)、第3区公民館において、行政区と地区公民館主催による令和6年度各種団体反省会が開催されました。

今年度、3区で行われた各種行事に参加及び協力した各種団体の役員、協力員の方々総勢73名の参加となりました。

冒頭で小林明区長と武井寛公民館長より「本年度も各種行事を大過なく進められたのも皆様の理解と協力のお陰です。今後も各種企画を検討し3区の活動の充実を図りたく引き続きの御協力をお願いします」と感謝のお言葉がありました。岡田前区長の乾杯の挨拶で始まり、今年度の反省や来年度に向けての歓談や抽選会などで大いに盛り上がり有意義な反省会となりました。

上毛 カルタ奮闘、3位入賞も

1月12日(日)に笠懸公民館で、第65回笠懸町子ども会上毛かるた大会が開催されました。3区からは、小1から中1までの20人が個人戦4人、団体戦4チームが挑みました。

子ども達は、大会出場に向けて11月下旬から1月上旬まで週2回の練習をしてきました。



中学生チーム



みんな頑張りました

今年は、低学年個人戦で3位入賞、そして中学生団体戦はみどり市大会出場を決め、26日(日)に出場しました。

体調を崩し、大会に参加できなかった子どもも数人いましたが、3区の仲間たちと大会に出場できたことは、いい思い出になったと思います。

パンジー植栽で色鮮やかに

12月15日(土)、東武スカイツリーライン友の会では藤生隆行会長をはじめとする35人が参加して、阿左美駅前の花壇に黄色やピンク、紫、青、赤、白の6色パンジー苗700株を植栽し、駅前を色鮮やかに彩りました(写真)。友の会ではこれまで6年間、月1回駅周辺でのごみ拾いや除草などの作業を継続して行っています。



笠懸東小学校 4年生による 阿左美沼清掃

11月21日(木)10時40分より 笠懸東小学校4年生による阿左美沼清掃体験授業が実施されました。

この授業は平成23年以来の総合学習として今年で24年目になります。参加者は4年生と保護者75名と阿左美沼土地改良区役員11名でした。

生徒たちは水を引いた沼底に興味津々で冒険心を掻き立てるようにゴミ取りをしていました。この屋外体験学習が将来ふるさとを思い起こすきっかけになれば幸いです。

ゴミの回収量は年々減少していますが、やはりプラスチックごみが大半でした。ちなみに今年は約100kgでした。阿左美沼は地域の水田に水を供給する貴重な水源池です。また、四季を通じて住民に安らぎと憩いの場として親しまれています。この清掃体験授業は地域の景観形成や保全におおいに役立っています。(写真は清掃をする子どもたち)

パンジー—— 彩植活動阿左美沼小沼周辺で

11月23日(土)に農地と水・阿左美地域環境保全協議の役員の方などが参加して、小沼西側の桜並木の歩道沿いに色とりどりのパンジーおよそ300株の栽植が行われました(写真右と下)。

活動に先立ち会長の赤石彰範さんからお礼の挨拶がありました。また、副会長の佐々木さんからは、花を見に人が集まってくれることへの期待の挨拶がありました。



花の種類は大輪のパンジーで、とてもしっかりした良い苗でした。晩秋から春にかけてパンジーと桜の花が小沼西側の道路沿いを華やかに彩り、道行く人を和やかに楽しませてくれることでしょう。



事業所紹介(13)

有限会社稲川工業

工場はアクロスプラザ笠懸の東、阿左美1254-4に位置しています。

事業は株式会社稲川のグループ会社として、プレス加工から溶接、組み立ての一貫生産しています。自動車部品をはじめとして、金属加工のエキスパートとしてもものづくりを力強く支える「縁の下の力持ち」を自負しています。

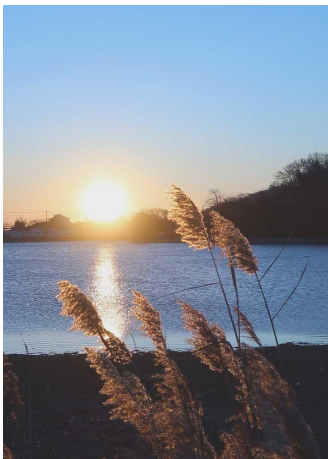
今後も自動化、効率化で、様々なニーズに柔軟に対応して行きたいと話していました。



穏やかな一年を祈る年明け

昨年(2024年)は元日から能登地方の地震に始まり、翌日の飛行機事故と不安ななかでの年明けとなりました。今年は阿左美沼(写真左)では例年と同じように暖かな初日の出となり、国道50号線では駅伝の熱い走りに大きな声援が送られていました(写真右)。

穏やかな一年のスタートと思いきや、埼玉県八潮市では下水道に起因する陥没事故が起こりました。みどり市は下水道の緊急点検を行ったところ、異常は見つかっていないようです。



ちょっとピンぼけ

このごろ、ちょっとテレビ、ラジオ離れている。1955年生まれ今年70歳。

ユーチューブ動画見たりネット投稿したりの日々、違った楽しみを発見し大喜びしている。わからないことは、AIチャットで確認したりしている。スマートフォンとパソコンの視聴時間が長くなりテレビ、ラジオの時間が少なくなってしまった。

個人の感想だけど、テレビとか新聞、ラジオでは

満足できない細かいニュース情報がネットにあり、真偽不明だが面白い！それが簡単に手に入る。

結果、オールドメディアへの疑問視度が上昇。正しいと思われる？情報習得のための煩雑なネットサーフィンが続き～目からうろこ。睡眠不足無茶はしない方が健康のためだが、わかっちゃいるけど～やめられない！(太)